

令和8年度
北海道大学 大学院法学研究科 法律実務専攻
(法 科 大 学 院)

入学者選考試験【前期日程】
「小論文試験」問題冊子

試験時間 : 10:00～12:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはならない。
2. 問題冊子は、表紙も含めて5ページある。
3. 解答用紙はB4版で、小論文【問題1】・【問題2】（両面印刷）、小論文【問題3】（片面印刷）の2枚である。
4. 解答用紙は、2枚とも必ず提出せよ。
5. 受験番号（上下2箇所）および氏名（上1箇所）を、すべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入せよ。
6. 解答は、すべて所定の解答用紙の指定された欄に横書きで記入せよ。
7. 解答は、黒インクのボールペン又は万年筆（ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。）で記入せよ。
8. 必要以外のことを解答用紙に書いてはならない。
9. 問題冊子の余白は下書きに使用してもさしつかえない。
10. 草稿用紙は回収しない。

次の文章を読んで、後の問題に答えなさい。

(文章省略)

(出典) 服部久美恵「苦情の正義」法学教室 2025 年 3 月号 16～19 頁 (ただし、出題に際して、文章の一部を省略・変更した)

問題 1 下線部①「解釈的不正義」の意味について、本文以外の具体例を示しつつ説明しなさい。(400 字)

問題 2 下線部②の文章について、本文の説明に則して説明しなさい。(400 字)

問題 3 下線部③は「公益通報者保護法」について説明しているが、この説明によれば、著者が指摘する各種の抑圧を同法によってどの程度克服することが可能だと考えられるか、問題文の内容を踏まえた上で、あなたの意見を述べなさい。(600 字)

令和8年度 法科大学院入学者選考試験【前期日程】小論文試験
出題の趣旨

文章を正確に理解する力、内容を分析し、要約する力、文章の内容を踏まえて論理的に思考する力、要約した内容、思考した内容を適切に表現する力を問う。

なお、問題文を非公表としているため、解答の指針は示すことができない。